



登り藤

令和6年2月17日（土）発行
令和5年度 第13号
江戸川区立南葛西第二中学校

「進む」「伸びる」「つなぐ」令和6年度に向けて

校長 古澤 浩一

現在、学校では令和5年度のさまざまな取組について、成果と課題を振り返り、令和6年度の教育課程の作成を進めているところです。学習指導要領では、各学校において「生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、生徒の心身の発達の段階や特性及び学校や地域の実態を十分考慮して、適切な教育課程を編成する」と定められており、カリキュラムマネジメントとして「教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと」が求められています。

教育課程での授業時数については「1015時間」や「1086時間」という数字として、報道等において耳にされた方もおいででしょう。1015時間は1年間の標準授業時数（週あたり29コマ×35週）のことを指します。江戸川区では、令和6年度の上限を1086時間と決めました。読書科や土曜授業日の授業もありますし、実際は35週より多いのですが、定期考査の時期や個人面談週間などの午後の授業カットや、さまざまな行事を考えると、学校独自に使える自由な時間はあまり多くはないのも現実です。

令和5年度は学校行事の復活により、生徒の活動面での成果も多くありましたが、授業時数の確保と学校行事の運営のバランスは課題ともなりました。中央教育審議会初等中等教育分科会も「学校行事に係る負担の軽減」「教育上真に必要とされるものに精選」「行事間の関連や統合を図る」など具体的に踏み込んだ緊急提言をしています。今後はよりいっそう「令和型の学校行事」を模索していく必要を感じます。

また、先日の学校評価アンケートには、106名の方々（前回比32.5%増）のご回答をいただきました。保護者の皆様からの声は、すぐに見直しができること・全体の中で方向を考えていくことなど、次年度の教育課程に生かしてまいります。アンケートの概要等は、あらためてお知らせいたします。

教育課程は、3月末に区教育委員会が受理することで確定します。生徒本位の新たな取組を検討するとともに、新しい時代に「進む」「伸びる」「つなぐ」教育課程を編成してまいります。

◇ SDGsを見据えた「リサイクル」等の推進と、それをふまえた取組について

SDGsの推進にもつながる標準服についてのリユース・リサイクルについては、すでにPTAを中心に進めていただいているところです。また、生徒もふだんから「2030年の江戸川区（SDGsビジョン）」の内容を意識して学校生活内でできる取組を進めています。

今後は、4R（Refuse、Reduce、Reuse、Recycle）の推進の観点からも、学用品・教材等の購入についても一斉購入の見直しなどを進めていくことも必要かと考えています。

SDGs ビジョン

例えば、現在使用している校名入りの通学かばん（リュック式バッグ、サブバッグ）については、かつて教科書等を日々持ち運んでいた頃との違いもありますし、iPad等の持ち帰りを想定しての検討も今後必要になってくるでしょう。また、個人情報保護等の問題（残念ながら「刺繍」「名札」の名前を見て声をかける不審者の存在等があります）も社会的な新たな要請のひとつです。

そこで本校では、令和6年度の新入生より体育着への生徒名の刺繍をとりやめることとしました。もちろん、変化には利点があるとともに対応しなくてはならない課題もあります。取り違えや紛失を防ぐためにも、記名の徹底などにおいて、ご協力とご留意をいただくことになると思います。

南葛西第二中学校は、標準服や男女混合名簿などで「ジェンダーレス化」しているなど、時代とともに進んでいる面もありますが、さらにその先を見通し、できればその先頭に南葛西第二中学校と生徒、なにより地域や保護者が立って進むことができればと考えています。

その一つとして「学校のきまり」についても、学校生活全般での生徒本位の学習指導・生活指導・進路指導の推進にあたり、生徒会活動等を通じた協議・検討など、生徒の意見を反映したり、保護者の意見を反映したりするなど、柔軟かつ建設的に見直しを進めてまいります。

引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



◇ 学年末考査が近づいてきています

学年末考査が近づいてきています。「一夜漬け」といわれるような方法に頼る生徒の姿やテスト開始の直前に必死に教科書やノートを読み返す生徒の姿も「風物詩」かもしれません。でも、これは明らかに「短期の記憶」にとどまります。せっかく聞いたこと、覚えたこと、書いたこと、まとめたこと・・・ぜひ「長期の記憶」にして、なにかの時に応用して、生活に生かせるようにしたいものです。この機会に、予習・復習や宿題を含めた学習の習慣を、いま一度見直して学習にリズムをつけることにも挑戦して欲しいです。

『令和5年度全国学力・学習状況調査報告書』によれば「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）」という設問に対して、「よくしている」と「全くしていない」と答えた全国の中学生の平均正答率の差は、国語科で12.8ポイント、数学科で15.7ポイント、英語科で15.2ポイントでした。まずは、「自分で計画を立てて勉強することから始めること、それで正答率が向上する」ということが数値で示されていると考えて、計画を立てて取り組んでみるところから始めてみるとよいのではないのでしょうか。



◇ 校内で研究授業を実施しました

○理科 2月7日（水）に江戸川区中学校教育研究会理科部の研究授業として、本校2年3組の理科の授業を区内の教職員に広く公開いたしました。電気の単元において、回路図の作図に至るための、回路の特徴を操作や話し合い活動も交えて学びました。

生徒の授業中の優れた活動をとらえ、どのように評価するのも研究のテーマであり、本校の生徒の活発な学びをもとに、研究協議会では有意義な話し合いが行われました。授業者である佐久間若帆教諭にとっても、学びの多い研修となりました。

○英語 2月14日（水）に研究主題『国際社会に貢献できる人間の育成を目指して』のもと、「小中連携を意識した、これから求められる授業について考える」をテーマに、3年2組で英語科の研究授業を実施しました。

国際化が進む中で、社会の中で使える英語力の育成が求められており、学習指導要領でも、身につけるべき英語力の位置づけや授業のあり方が変化してきています。



今回の授業では、「江戸川区授業の達人」にも表彰された授業者・長嶋昌子主任教諭がオールイングリッシュで指導するだけでなく、生徒も学んできた英語を適切に使おうとし、また話し合いの中でお互いの英語を確かめ合い、テンポよく学習活動が進みました。

これから求められる授業のあり方であるとして、講師の先生からはさらなるご指導をいただき、本校教員一同にとっても、有意義な研修となりました。

【生徒の主な活躍】

◎男子バスケットボール部 ◇江戸川区連盟杯 3回戦進出

◎女子バスケットボール部 ◇江戸川区連盟杯 2回戦進出

◎吹奏楽部 ◇江戸川区吹奏楽連盟第24回アンサンブルフェスティバル 管打八重奏『キャンディ・ロボ』銀賞

3月の主な予定

2日（土）PTA 年度末総会

4日（月）全校朝礼・デートDV 防止教室

5日（火）安全指導・専門委員会

7日（木）3年校外学習〔横浜〕

9日（土）土曜授業・学習発表会始

11日（月）学習発表会終

12日（火）避難訓練

15日（金）卒業式予行・表彰・三送会

18日（月）生徒会朝礼

19日（火）卒業式

21日（木）保護者会（1・2年）

22日（金）給食終・大掃除

25日（月）修了式

26日（火）～4月5日（金）春季休業日

※本校ホームページも随時更新しています。ぜひ本校生徒の活躍の様子をご覧ください。➡

